

国語科 学習指導案			
単元名	作品の制作された背景などに触れることで、古典への理解を深める「古典B」（言語文化）		
単元の目標 (単元で育成する資質・能力)	<p>① 知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。(我が国の言語文化に関する事項イ)</li> <li>・ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。(我が国の言語文化に関する事項ウ)</li> </ul> <p>② 思考力・判断力・表現力等</p> <p>作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。(B 読むこと エ)</p>		
具体的な評価規準			
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
陶淵明の思想や作品が成立した時代の背景を理解している。	陶淵明の他の作品に表れた思いを理解し、それを踏まえて『桃花源記』の解釈を深めている。	陶淵明の思想や作品が成立した時代の背景に触れることで、他の作品に表れた思いを理解し、それを踏まえて『桃花源記』の解釈を粘り強く深めようとしている。	
単元計画			
次	時	評価規準と評価方法	学習活動
一	1 2 3 4	<p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漢文の訓読のきまりなどについて理解している。</li> </ul> <p>(知識・技能)</p> <p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 記述の確認</li> </ul>	<p>①『桃花源記』の内容を読みとる。</p> <p>② 読んでの感想を書く。</p>
二	5	<p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 陶淵明の詩から作者について理解を深め、作品の制作された背景を理解している。</li> </ul> <p>(知識・技能)</p> <p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 記述の確認</li> </ul>	<p>③陶淵明の詩を生徒に配布し、作者の人生を知ること、時代背景や作品制作の背景に触れる。(本時)</p>
三	6	<p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 陶淵明の他の作品に表れた思いを理解し、それを踏まえて『桃花源記』の解釈を深めている。</li> </ul> <p>(思考・判断・表現)</p> <p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 記述の分析</li> </ul>	<p>④「陶淵明はどのような思いで『桃花源記』を書いたのか」を個人活動や対話的活動で深める。</p>